

山ノ内町がめざすコミュニティ・スクール概念図

やまのうちコミュニティ・スクールのねらい

オールやまのうちの「よこ」のひろがり

- 町の地域の力と豊かな地域資源を活かして、町固有の学びを実現する。
- PTA やこども会、育成会などの各種団体と融合していく。
- 学校が地域全体でこどもたちを支えるシンボルとなり学び舎としての質と機能を高める。
- 「こどもにやさしい町づくり」を進める。

★こどもも大人もともに学び育つ町

○ ESD

- ・対話的な学びを通じて主体的に考え、判断行動できる。
- ・ふるさとに愛着と誇りを持ち、町の発展に高い関心が持てる。
- ・持続可能な社会の担い手として問題意識が持てる。

○ グローバル教育

- ・世界に羽ばたく未来の作り手として自信と意欲が持てる。
- ・海外諸国の情勢や文化に視野を広げ積極的に交流できる。
- ・自分の気持ちや考えを色々な手段で伝えることができる。

町のこども達に願う姿

- ・心身の健康に留意し、継続的に体力向上に取り組んでいる。
- ・自分の好きなことにじっくり向き合い続ける。
- ・「自分をあきらめない」たくましさ・しなやかさを育てる。

○ スポーツ芸術

- ・自分らしさを大切に自分と異なる他者の価値観に共感できる。
- ・家族や他者への信頼や愛情と優しさを素直に表現できる。
- ・他者と比較して恥じたり責めたりしない自己肯定感を養える。

○ 人権教育

会 議

会議と活動をつなぐ

活 動



会 議 体

委員：保護者 学校職員
地域住民
ボランティア代表
地域コーディネーター 等



地域とともにある学校

地域コーディネーター

★コミュニティ・スクールとは★

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながらこどもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み

学校を核とした地域づくり

地域学校協働活動

- ・授業支援
- ・読み聞かせ
- ・キャリア教育
- ・環境整備
- ・クラブ活動
- ・放課後活動
- ・安全・見守り
- ・地域行事
- ・行事支援
- ・給食や清掃支援
- ・防災学習 など

★活動を進める地域学校協働本部の要件★

- ① 学校と地域をつなぐコーディネート機能
- ② より多くの地域住民や団体、企業等の参画による多様な活動（活動の組み合わせ）
- ③ 多様なネットワークによる安定的継続的な活動（緩やかな大人同士のつながり）

知恵を出し合う：会議

一体的な推進により、
的確かつ機動的に取り組む

協働する：授業や放課後の活動



山ノ内町の地域学校協働活動

地域学校協働活動 地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等に参加していただき、学校と地域全体でこどもたちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校がパートナーとなり、連携・協働して行う様々な活動。



東小 町ウォークラリーの実施に向けて



南小 信州教育の日でお弁当を販売



町全体 地元のイベントへの参加



西小 収穫したものを地域の皆さんと



中学 地元のよさ 他地域との比較



町全体 英語学習の推進

コミュニティ・スクールのよさ

○児童・生徒にとって

- ・地域からの本気のフィードバック
- ・多様なつながりで非認知能力向上
- ・学校づくりに関わる市民性の高まり

○町・地域にとって

- ・計画段階から関わることによる当事者意識の高まり
- ・こどもの教育・大人の学び
- ・「学校を核とした地域づくり」

○学校にとって

- ・児童生徒の姿の変容がもたらす教師の有用感の高まり
- ・地域の力を活用した学校課題解決
- ・当事者意識の高い地域住民参画